

加藤秀人
議員



どのようにすすめる安全安心のまちづくり

町長 自主防災組織など体制整備を図る

■見守り隊への支援は
加藤 町内各地で子どもの登下校時の見守りが多くのボランティアの協力で行われていますが、どのような支援を考えていますか。
町長 各地区や各種団体で安全パトロール隊を結成して、子供たちの安全確保に協力いただいています。18年度から「地域学校安全指導員」が配置され、各学校の安全体制の強化をはかっています。また、防犯パトロール車を配置し、町防犯協会が中心となり連日巡回しています。

今後、地域や関係団体で「安全安心ネットワーク」などの設立や防犯活動用品の支給も検討します。



自主防災組織設立への支援は。(総合防災訓練・東根)

■地域自主防災組織結成に向けた支援は
加藤 自主防災組織の結成に向けた取り組みが行われている地域がありますが、支援はどう考えていますか。
町長 自主防災組織は、地域住民が自主的に連帯し、災害時の初期消火や救出救護、避難誘導など被害を最小限にするための組織です。組織への支援は、消防庁

や県などの助成制度を最大限活用し、防災資器材や防犯体制の整備、普及をはかります。
■ハザードマップ(災害等被害予測図)の作成は
加藤 全町を網羅するハザードマップが必要ではないですか。また、町民への周知はどのように考えていますか。

町長 過去に「土砂災害危険箇所図」を作成し関係地域に配布しましたが、その後、県による危険箇所の変更指定があり、見直しが必要です。
総務課長 全町民に想定される自然災害などの対応について町報などで周知をしていきます。ハザードマップの作成は県と連携をしながら段階的に進めます。

■しらかか応援PR大使で交流促進を
加藤 たびたび首都圏や県外に出かけられる町民の方を「(仮称)しらかか応援PR大使」にお願いしてPR名刺やPRパンフレットを配布し口コミで白鷹をPRしていただくということはどうですか。
 また、町内の青年などを中心として「(仮称)白鷹ヤングPR戦略グループ」を作り、柔軟で奇抜なアイデアや発想を提案してもらってはいかがですか。
町長 前向きに十分検討させていただきます。